



新庁舎の実施設計が まとまりました!

実施設計の概要版は、市ホームページで公開しています。

市役所新庁舎の具体的な仕様や設備などをまとめた実施設計が完成しましたので、その概要をお知らせします。新庁舎は、本年秋から建設工事に着手し、令和5年度に完成する予定です。

事業費と財源見込み

区分	概算工事費	備考
建設工事費	38億2,000万円	建築工事、電気設備工事、機械設備工事
解体工事費	1億9,000万円	旧庁舎の解体
外構工事費	3億2,000万円	駐車場などの外構
その他費用	6億4,000万円	設計、備品購入、引っ越しなど
合計	49億7,000万円	

財源の内訳

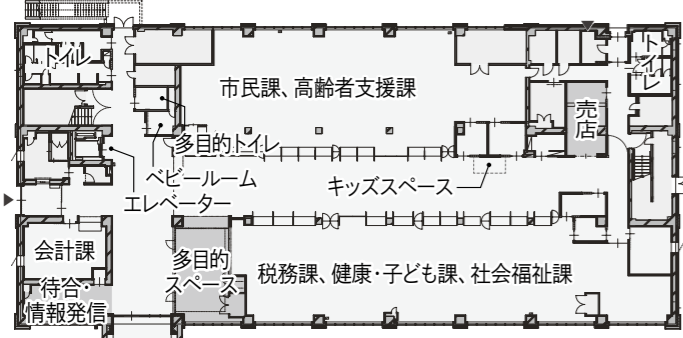
区分	金額
地方債(市町村役場機能緊急保全事業など)	42億8,300万円
(うち地方交付税措置額)	(10億2,600万円)
補助	400万円
一般財源	6億8,300万円
合計	49億7,000万円

※国の補助事業に採択された場合、補助などは増額となり、地方債と一般財源は減額します。

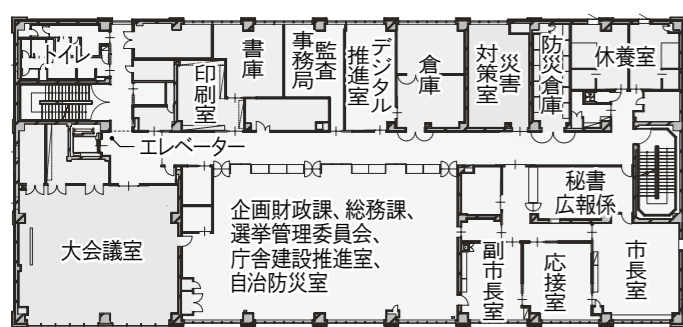
整備スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	建設工事	外構・解体工事など		
		新庁舎供用開始(令和5年秋)		

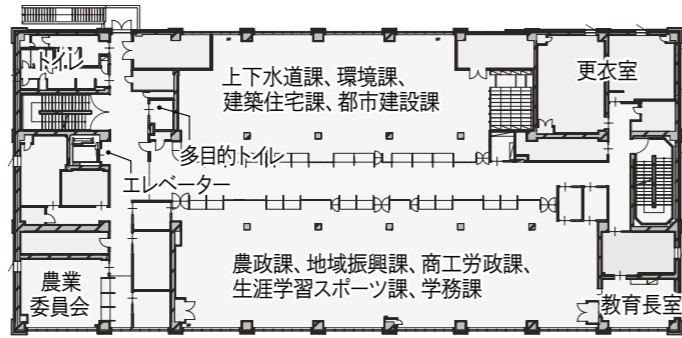
1階 中央に設けた通路の両側に利用者の多い窓口を配置します。正面玄関付近には多目的スペースを設け、待合や展示、臨時事務などに使用します。



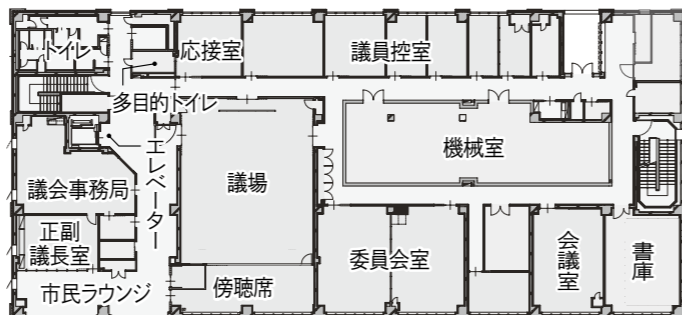
3階 大会議室や特別職諸室、管理部門の部署を配置します。災害対応の各部屋を集約して災害時に迅速で円滑な対応を可能とします。



2階 1階に次いで来庁者が多く専門性のある部署を配置します。水害などの対応に備え2階から出入りできる屋外階段を設けます。



4階 議場や委員会室など議会施設を配置します。バリアフリーに配慮した傍聴席には親子室も設けます。眺めが良い南側に市民ラウンジを設けます。



新庁舎の特徴

環境に優しい空知初のZEB庁舎
外断熱などによる建物の高断熱化をはじめ、効率の良い照明機器や空調設備の採用、地中熱の活用などにより、従来の建物に比べ年間の一次エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEB※ Ready」を達成。空知管内では初めてZEBを達成する庁舎となり、環境負荷と維持管理コストを抑えた建物となります。

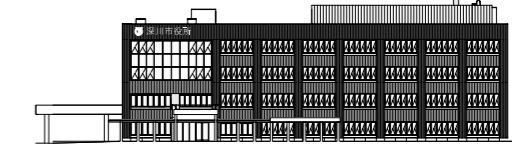
人に優しいユニバーサルデザインを徹底した庁舎
建物出入り口の段差解消やゆとりある通路幅の確保をはじめ、多目的トイレの各階への整備、エレベーターやベールームの設置のほか、各室出入り口の多くを引戸にするなど、誰もが安心・安全に利用できるユニバーサルデザインを徹底した庁舎とします。

災害に強い庁舎
高い耐震性を有する構造とし、非常用発電機などの設置や備蓄品の確保などにより、災害時でも庁舎機能を維持できる建物とします。

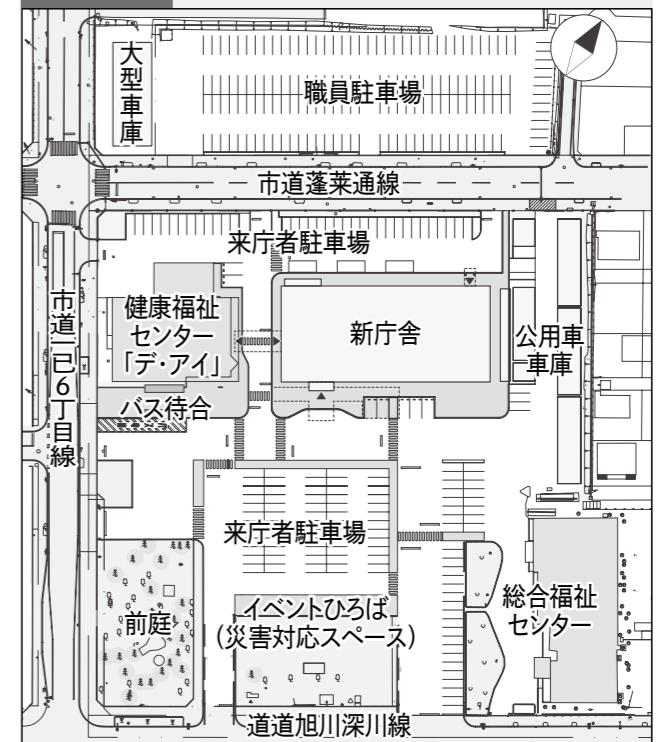
分かりやすく利用しやすい庁舎
分散している庁舎機能を集約し、利用者の多い窓口を低層階に配置するなど、分かりやすく利用しやすい庁舎とします。

新庁舎の概要

延床面積	6,424㎡
階数	地上4階建
構造	鉄筋コンクリート造 一部プレストレストコンクリート造(耐震構造)
駐車場	138台



配置図 新庁舎は現庁舎の北側に建設します。駐車場などの配置は下図のとおりです。



問合せ 総務課庁舎建設推進室建設推進係 ☎26・2226

※ZEB…Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で使うエネルギー消費を実質ゼロにすることを旨とした建物。